和歌山県立日高高等学校・附属中学校

2014 年度 活動報告

8年目を迎えた日高高校 SSH 事業、新たな取り組みもはじまっています。

一 種子島・屋久島研修 一

11月5日(水)~9日(日)、初めての試みとして実施し、17名が参加しました。

- 種子島
 - ◆ 地質研修

6日:南種子町の貝化石層で、カキの化石など新第3紀の地層を観察しました。

◆ JAXA 種子島宇宙センター研修

7日:宇宙センターの金子亮太郎研究員から、ロケット技術や実際の打ち上げについて講演をお聞きしたあと、実物のロケットや管制室などを解説を受けながら見学しました。「ハヤブサ 2」の打ち上げがせまってい

たので、格納庫を見ることができいなかったのが残念でしたが、











■ 屋久島

◆ 屋久杉ランドから太忠岳へ

8日:班別に「コケ」「垂直分布」などテーマを設定し、屋久杉ランドで研修。その後、太忠岳頂上の花こう岩大岩をめざしました雨の中ハードな行程でしたが、全員登頂。屋久島の自然を満喫しました。





9 日:世界遺産の核心部分でもある、西部林道の照葉樹林 帯を見学し、ヤクザルなどを観察しました。







一 附属中学校 近大生物理工学部研修 一12月4日(木)、附属中学校の3年生が、近畿大工生物理工学部

12月4日(木)、附属中学校の3年生か、近畿大工生物理工学部での研修を行いました。

■ 科学英語研修

附属中学では、卒業研究として実施している課題研究(1)の Abstract を英語で作成する取り組みを行っています。また、高校の課題研究(2)では、英語論文の作成をめざしてます。これらの基本的な手順などを学習するため、生物理工学部の服部准教授に、科学英語についての講義をしていただきました。

■ 研究室訪問

午後は、5 つの研究室にわかれ、実習を交えた講義とデモンストレーションを実施しました。学生アシスタントの指導もいただきながら、マウスの欄を使った受精実験や、野菜ジュースの成分分析などを行いました。、遺伝子工学や医用工学など専門的な内容をわかりやすく体験させていただき、中学生も科学への興味を深くしました。







一 各種研修 一

■ 兵庫·大阪研修

2 年生理系クラスと総合科学科が、例年実施している、JT 生命誌館、関西光科学研究所、アサヒプリテックでの研修を行いました。文系クラスは、熊野古道での研修を実施しました。

■ 京都大学瀬戸臨海実験所研修

1 年生総合科学科が、京都大学瀬戸臨海実験所での生物分類実習を実施しました。京都大学の大和助教からの解説と水族館での実習、近くの海岸での採集と分類実習を行いました。





ー デンマーク研修 ー

11月2日(日)~11月9日(日)、姉妹校であるフレデリクスハウン高校を訪問しました。今回から、事前に決めた共通テーマによるプレゼンや授業プログラムの開発などを行いました。今回のテーマは「Sustainability(持続可能性)」です。

■ ロラン島

NHKの「地球一番」でも紹介された、自然エネルギー先進地の取り組みを学びました。
エネルギーに対する考え方や発想、生活パターンや民主的な議論の進め方など、多くの面で学ぶことの多い研修でした。



◉ フレデリクスハウン高校

両校のプレゼンを行ったあと、主にエネルギーに関わる「Sustainability」について、実験やディスカッション、市の担当者の方の講演などを通じて学び、最後にデンマークと和歌山の持続可能なエネルギーについてまとめました。

日本ではあまり経験のない手法での授業に戸惑いながらも、しっかり参加し考えることができたようです。











ー アジア高校生フォーラム ー

10月13日(火)~17日(金)、100周年記念行事として、16の国と地域の高校生を招待して行われました。

台風の通過で心配しましたが、14日(水)は分科会を、15日(木)の全体会を無事行うことができました。フォーラムでは「環境」「文化」「観光」のテーマについて、プレゼンテーションと質疑のあと、全員で意見交換を行いました。

日高高校は、全てのテーマに参加しました。「文化」は、歴史的に見た学生文化について、「観光」は、おもてなしを切り口に観光の持つ力について、「環境」では、防災の観点にたち、予知・建築構造・避難について発表しました。

このほか、文化的な行事や交流会、事前に行われた JAICA や和歌山大学での研修会、講演会などを通じ、 生徒の国際的な観点がおおいに養われました。











一 名田海岸·日高川河口干潟 研修 -

1 年生 1~4組が、自然観察実習を行いました。普通科での初めての試みでしたが、多くの生物を採集し、生物の楽しみながら学習することができました。猛毒のヒョウモンダコが採集され、注意を喚起していたものの温暖化の進行を実感した限りです。





日高川では、市の天然記念物「ハマボウ」についても学びました。